

中原キリスト教会
主日礼拝 補助レジュメ

第一コリント 7章 25-40 節 (私訳)

25 節：婚約中の人たちについては、私は主イエスからの教えを受けてはいませんが、主のあわれみにより信頼に足るとされた者として、判断を与えます。

26 節：現在の緊急の状態を鑑みれば、婚約中の男性はそのまま、つまり結婚しない状態にとどまる方がよいと考えます。

27 節：婚約の誓いに縛られている男性は、その誓いを解こうとしてはいけません。しかし、婚約の誓いに縛られていないのなら、結婚しようとしてはいけません。

28 節：しかし、あなたが結婚しても、それが罪になるわけではありません。もし婚約中の人々が結婚しても、それで罪を犯すことにはならないのです。ただ、結婚する人たちは肉において苦難を持つことになるでしょう。私はあなたがたをそのような目に遭わせたくないので

29 節：兄弟たちよ、私はこう言いたいのです。時は短くされています。今後は、妻を持つ者は持たない者のようにしなさい。

30 節：嘆いている者は、嘆いていない者のように、喜んでいる者は、喜ばない者のように、買う者は、持っていないもののようにしなさい。

31 節：そして、この世を用いている者は、それを十分に用いていない者のようになりなさい。なぜなら、この世の在り様は過ぎ去っていくからです。

32 節：私はあなたがたに思い煩いがないようにして欲しいのです。結婚していない男は、どのように主を喜ばせようかと、主の事柄に気を配ります。

33 節：しかし、結婚をした男は、どのように妻を喜ばせようかと、この世の事柄に気を配り、

34 節：そうして心が割れてしまいます。結婚していない女性や未婚（婚約中）の女性は体も霊も共に聖なるものとなろうと、主の事柄に気を配りますが、結婚している女性は、どのように夫を喜ばせようかと、この世の事柄に気を配ります。

35 節：このように言うのはあなたがた自身の益のためであり、あなたがたに制約を課するというものではありません。そうではなく、あなたがたが上品に、煩いなく主に献身するためなのです。

36 節：しかし、もしある人が婚約中の女性に対して品位のないふるまいをしてしまうと思うのなら、また相手の女性が婚期を逃すのではないかとの思いから結婚すべきだと思うなら、望みどおりにしなさい。彼は罪を犯すのではないし、結婚すべきです。

37 節：しかし、彼が固く決意していて、無理にではなく自分の心をコントロールできるのなら、そして相手の女性をそのままにしておこうと心の中で判断するのなら、そうしなさい。

38 節：したがって、婚約者の女性と結婚するのは良いことです。そして、結婚しないのはもっと良いことなのです。

39 節：妻は、夫が活着ている間は彼に縛られますが、夫が死去した場合には、彼女は望む男性と結婚できます、ただしその相手は主にある者に限ります。

40 節：しかし、私の判断では、彼女はそのままでいる方がもっと祝福されます。私自身も、神の霊を受けていると考えています。